

# 令和7年度大学院入学試験 筆記試験代替問題 (中期募集)

## 教育実践高度化専攻 学校教育実践研究コース (学校経営・学校心理領域)

- 1 筆記試験に代えて評価する項目をあらかじめ設定し、口述試験の中で試問するものです。なお、以下のとおり試問を行いました。

以下の3問から1問を選び、10分以内で解答を考えなさい（その際、適宜メモ用紙を使用して良い）。その後口頭で解答を求めます。

### 問題1

地域学校協働活動とはどのような活動か、推進にあたっての留意事項にも触れながら説明しなさい。（教育学）

### 問題2

小学校学習指導要領（平成29年告示）には「各学校が行う学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう留意するものとする」と記されている。学校評価とカリキュラム・マネジメントをどのように関連付けるかを述べなさい。（教育学）

### 問題3

学習の移転とは何か、学校教育場面で見られる正の転移と負の転移の具体例をあげながら説明しなさい。また、こうした転移に影響を及ぼす要因にはどのようなものがあるか論じなさい。（心理学）

- 2 学生募集要項「7 入試方法」では、筆記試験に代えて評価する項目に関して、以下のように記載しています。

筆記試験に代えて、教育学又は心理学の基礎的な知識及びコースにかかわる専門分野についての研究内容に関しても試問する。

※ 試験当日は、上記の内容について試問を行いました。